



広報

大熊町役場会津若松出張所

3月1日発行／大熊町役場総務課 所在地：福島県会津若松市追手町2番41号 ☎フリーダイヤル：0120-26-3844(代)
E-mail：okuma@town.okuma.fukushima.jp／ ブログ大熊町 http://blog-okuma.jugem.jp/
大熊町公式ホームページ臨時サイト http://www.town.okuma.fukushima.jp/

今月の主な内容

- こころの健康に関するアンケート ②～⑤
- 町のうごき ⑥～⑦
- 町民のひろばインフォメーション ⑧～⑨
- ⑩～⑬
- 保健だより ⑭
- 町民掲示板 ⑮
- お知らせ ⑯

フルーツの香り漂う ロマンの里

おおくま



3

弱い心の鬼を追い出せ

—大野・熊町小学校豆まき集会—

2013〔平成25年〕No.488

平成24年度総合健診

「こころの健康に関するアンケート」 ご協力ありがとうございました

心の健康に関するアンケートとは……

調査目的

避難生活が長期化する中で、移り住んだ現在のコミュニティでの関係を含めた生活と、こころの健康状態について実態把握することは重要です。

長期的に集団避難生活を送る住民の皆様的心里社会的特徴を踏まえ、今後の町の精神保健福祉事業の基礎資料とするため、調査を実施しました。

こころと身体の健康対策をはじめとする、保健センター事業に活かします。

調査会場

会津地区会場・いわき地区会場
郡山地区会場

調査項目

- 【1】 属性（避難先地区と住宅・年齢・性別・職業など）
- 【2】 精神的健康状態
- 【3】 ストレス解消法
- 【4】 震災後の生活の変化
- 【5】 ソーシャルサポート
（社会的支援）



【調査対象】

大熊町が行う総合健診に申し込んだ20歳以上の住民

【調査機関】

大熊町保健センター

【回収結果】

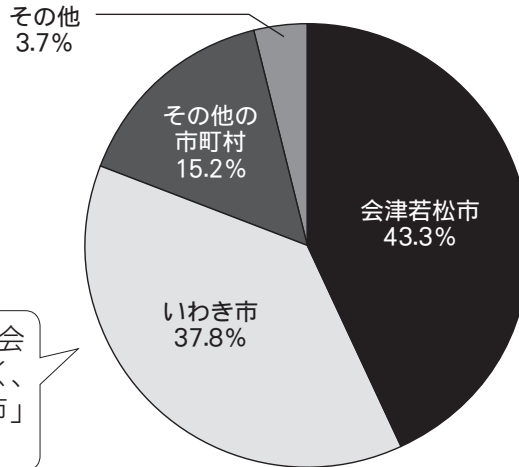
1,595部配布のうち

1,478部回収（92.7%）

対象者プロフィール

【現在、お住まいになっている地域をお聞かせください】（有効回答数：1,470）

住まいの場所	人数 (%)
会津若松	637 (43.3%)
いわき市	555 (37.6%)
その他の市町村	224 (15.3%)
その他	54 (3.7%)



現在の住まいは、「会津若松」が最も多く、次いで「いわき市」でした

【年齢は満でいくつですか】（有効回答数：1,467）

最低年齢：20歳 / 最高年齢：94歳

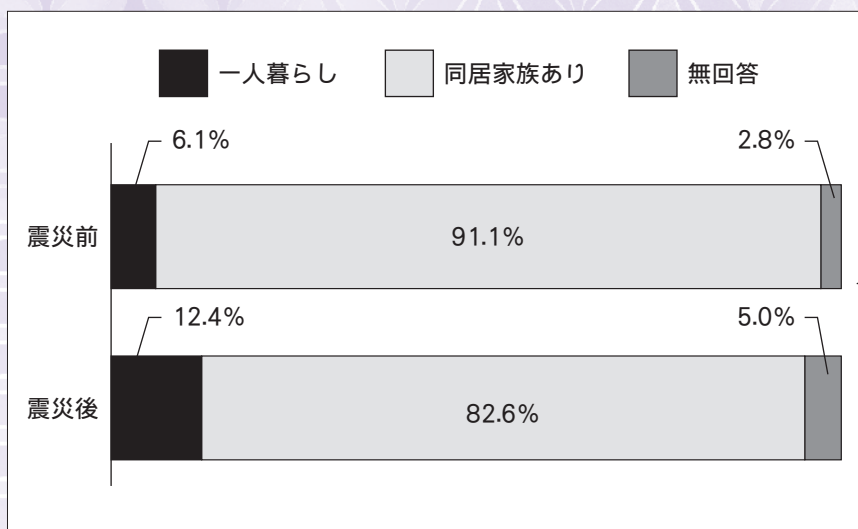
平均年齢：58.8歳

【性別】（有効回答数：1,471）

男性：542名 (36.8%) / 女性：929名 (63.2%)

【一緒に住んでいる方は】（有効回答数：1,478）

同居の有無	震災前			震災後		
	一人暮らし	同居家族あり	無回答	一人暮らし	同居家族あり	無回答
人数 (%)	90 (6.1%)	1,347 (91.1%)	41 (2.8%)	183 (12.4%)	1,221 (82.6%)	74 (5.0%)

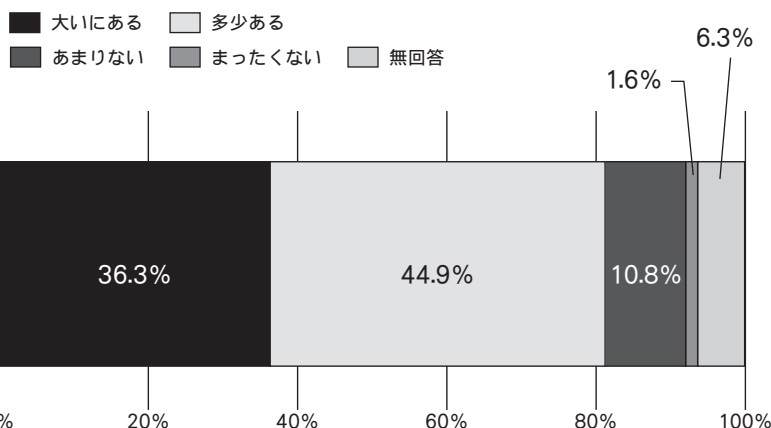


一緒に住んでいる人は、震災前後ともに「同居家族あり」が大多数を占めます。しかし、震災後は「同居家族あり」が震災前に比べ8.5%減少していました

ストレスと解消法

【ここ1カ月で悩み、ストレスなどがありましたか】（有効回答数1,478）

大いにある 537 名
 多少ある 664 名
 あまりない 160 名
 まったくない 24 名
 無回答 93 名



ここ1カ月の不満や、悩み、苦勞、ストレスについては、「多少ある」が最も多く、44.9%でした。次いで「大いにある」36.3%でした。

【どのような事柄がストレスの原因ですか】（複数回答可 有効回答数：1,369）

順位	ストレス原因	人数	%
1位	自分の健康・身体状況	738	53.9%
2位	近隣の住環境・生活環境	547	40.0%
3位	家族の健康や世話	460	33.6%
4位	家計・しごと・就職	453	33.1%
5位	近隣での人間関係	314	22.9%
6位	家庭内での人間関係	193	14.1%
7位	子や孫のしつけ・教育	187	13.7%

悩みやストレスの原因は「自分の健康・身体状況」が最も多く、次いで、「近隣の住環境」「家族の健康や世話」などが続いています。

【日常生活での悩みやストレスを解消するために、よく行うことはなんですか。】

（複数回答可 有効回答数：1,435）

順位	ストレス解消法	回答者数	%
1位	買い物	608	42.4%
2位	テレビやラジオ鑑賞	507	35.3%
3位	旅行やドライブ	430	30.0%
4位	人と話をする	417	29.1%
5位	食べる	300	20.9%
6位	お酒を飲む	281	19.6%
7位	スポーツ	262	18.3%
8位	寝る	247	17.2%

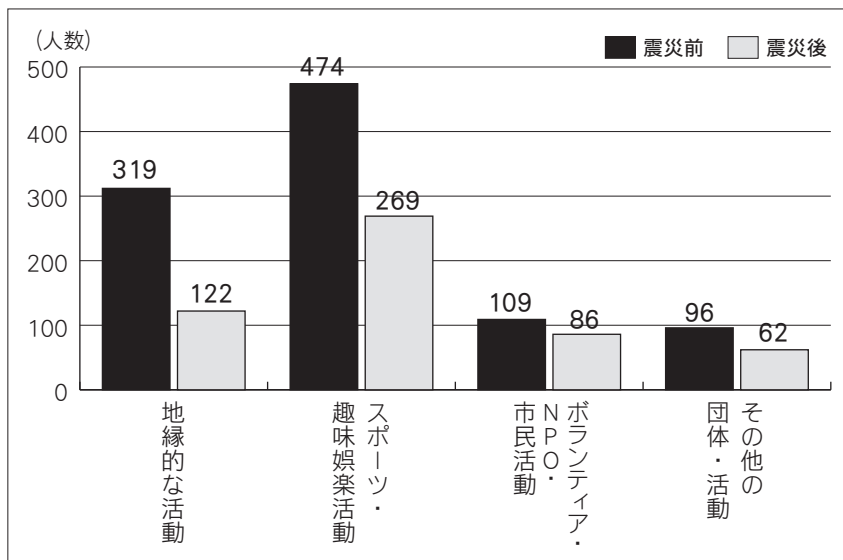
ストレスの解消法は、「買い物」が最も多く42.4%でした



お問い合わせ先 大熊町役場会津若松出張所 保健センター
 フリーダイヤル 0120-26-3844

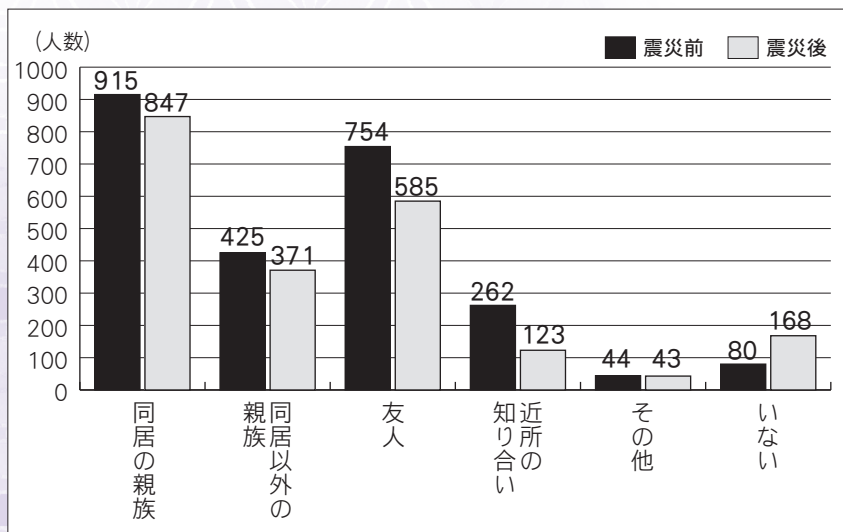
震災前後の生活の変化とソーシャルサポート

【お仕事以外で、あなたが地域で活動されているものがありましたら当てはまる番号すべてに○印をつけてください】（複数回答可）



地域の活動は、全体的に震災後は減少していた。特に町内会、消防団やご近所づきあいなど地縁的な活動は、震災前の半数以下となっていました。

【悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人はいますか】（複数回答可）



不満や悩みやつらい気持ちを受け止める支援者は震災後に減少しており、支援者が「いない」と答えた回答者は2倍増加していました。

～こころと身体を健康を維持するために～

保健センターでは平成24年度総合健診とこころのアンケートの結果をもとに、通知や訪問（保健師・管理栄養士・看護師）をさせていただきます。食事内容や日常生活の見直し等、お気軽にご相談ください。

健診は住民の皆様の健康を守るための機会になります。平成25年度の各種健診のご案内は広報等で順次お知らせさせていただきます。是非ご利用ください。

教育連携に関する協定を締結

会津大学と大熊町教育委員会が1月25日、教育連携に関する協定を結びました。

この協定は会津大学および会津大学短期大学部と大熊町の小・中学校が連携し、「教育の質の向上と活性化」、「魅力ある学校作り」、「大熊町の未来を担う人材の育成」を目的としています。

この協定により、大学・短大は小・中学校での講座への講師派遣、体育館や図書館など施設の貸出、サイエンスカフェなど実施し、町教育委員会は大学生の中学校での教育実習の受け入れなどで協力します。サイエンスカフェは、科学者と参加者が気軽な雰囲気の中で科学の話題を語り合うイベントです。

協定調印式は1月25日、県の会津若松合同庁舎で行われ、石井浩県会津地方振興局長が立ち会い、角山茂章会津大学理事長と武内教育長が協定書を交わしました。

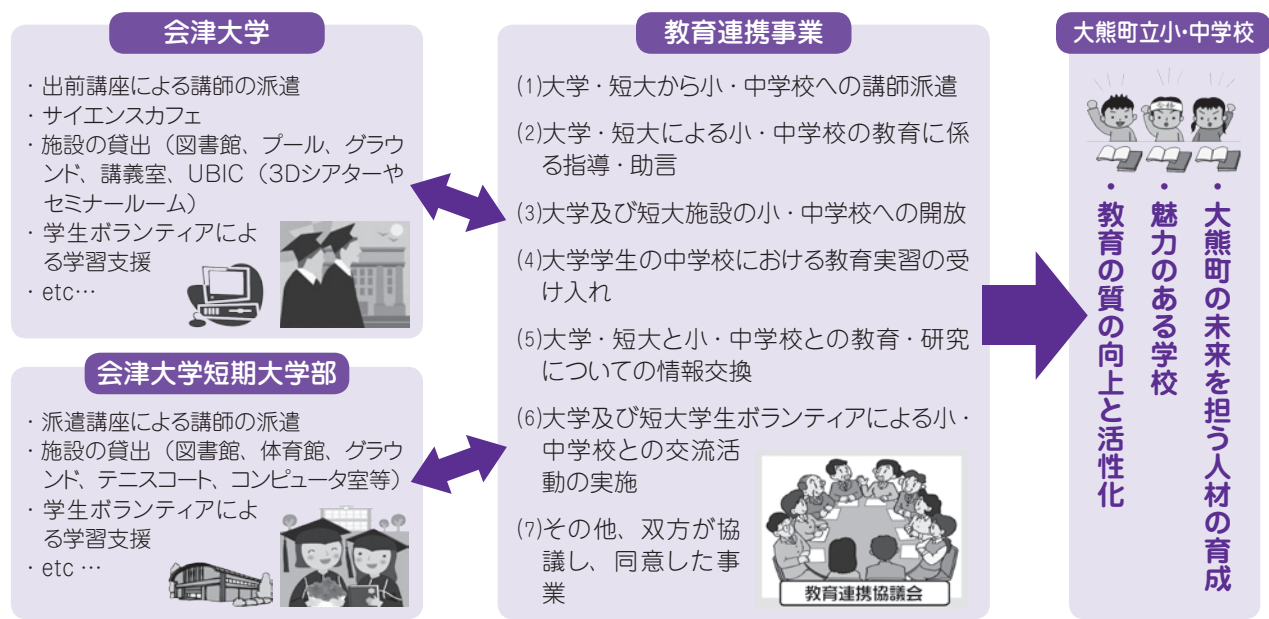
角山理事長は「大熊町の小中学校の質の向上と活性化、魅力ある学校作りを積極的に支援し、先生方と一緒に大熊町の未来を担う人材の育成に協力して取り組みたい」と、また、武内教育長は「人材の育成以外に大熊町の再生は望めない。この協定が子どもたちのために生きて働き、子どもたちの希望となるように会津大学の皆様と力を合わせていきたい」と意欲を語りました。



協定書を手にする角山理事長と武内教育長

公立大学法人会津大学と大熊町教育委員会との連携事業の概要

会津大学及び会津大学短期大学部と、大熊町立小・中学校が連携することにより、相互に知的フィールドを提供し合い、教育の質の向上と活性化を図るとともに、大熊町の未来を担う人材の育成に努める。



根本復興大臣に要望書を手渡しました

福島県2区選出の根本匠復興大臣が2月16日、役場会津若松出張所を訪れ、渡辺町長と会談しました。

渡辺町長は、帰還に必要な基準の設定など4項目の要望書を提出しました。

根本大臣は会談の中で「ふるさと希望復活事業、コミュニティ復活交付金など新たな予算を活用し、スクラムを組んで一日も早い帰還、復興に全力をあげて取り組む」と話しました。



今後の取り組みについて話す根本大臣

要望内容は次のとおりです。

1. 帰還に必要な基準の設定について

- (1) 住民や農業従事者が安心して帰還できるよう、生活環境、健康、食品等に係る線量の基準について、客観的、科学的な根拠に基づく国民の合意形成を図ること。
- (2) 帰還の時期が具体的に判断できるよう、除染技術の向上による効果を含めた区域ごとの線量推移を早期に示すこと。
- (3) 中間貯蔵施設及び最終処分場の確保、原子力発電所事故の完全な収束と廃炉に向けた中長期ロードマップを国の責任において確実に実施し、住民の不安や疑問の解消に努めること。

2. 大熊町の復興計画について

- (1) 帰還に向けた除染、インフラ整備の工程表等を示し、避難解除等区域復興再生計画で未策定となっている大熊町の計画を速やかに策定すること。
- (2) 町外コミュニティについては、被災者全体の課題であり、受け入れ自治体や双葉郡内外の一体的な調整を行い、被災地域全体のための拠点にするとともに必要な財源措置を確実に講ずること。
- (3) 長期化する避難生活、町に戻らない選択をする町民を考慮し、長期の居住、永住が可能な戸建住居を整備するとともに、雇用に考慮したコミュニティを整備すること。

3. 復興庁において、各省庁に対する強い権限を持って、被災地の復興政策を実質的にリードできる体制とすること。また、県や各市町村の意向をくみ取り、一体的な復興政策を主体的に示すこと。

4. 大熊町民が震災以前の生活水準に戻るまで、長期継続的かつきめ細やかな復興支援を実行すること。

大川原地区の先行除染が行われています

現在、大川原南平の一部では、国直轄の先行除染が行われています。

この除染は、土地の所有者の同意を得て、宅地や水田、道路など28ヘクタールの範囲で実施されています。

2月18日現在の状況は、田畑の除草がほぼ完了し、表土を約10センチメートル剥ぐ作業が始まっています。また、建物の拭き取りによる除染も始まります。

この先行除染は、3月末頃までに完了する見込みであり、平成25年度は、大川原の他の地区および中屋敷地区の除染が、同様に国直轄により行われます。



除染作業が進む南平地区

健康で楽しく働ける、豊かなまちをつくりましょう。
みんなで助けあい、明るいまちをつくりましょう。
きまりを守り、平和な住みよいまちをつくりましょう。
自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
進んで学び、香り高い文化のまちをつくりましょう。

追い出したい鬼を発表 一大野・熊町小豆まき集会



節分の説明をする保健委員

大野・熊町小学校豆まき集会が2月1日、会津若松市河東町の同小学校校体育館で開かれ、各小学校全校生徒のほか、大熊町幼稚園の年長組の園児たちも参加しました。この会は、伝統的な行事である豆まきに対する理解を深めながら親睦を深めることを目的に、今年初めて行われました。

会では渡邊義人大野小学校長が「自分の心の中にある弱い心を鬼として追い出してください」とあいさいつし、

保健委員の生徒が節分の説明をしました。また、各学年代表が「泣き虫鬼」や「怒りんぼう鬼」、「だらだら鬼」など、各々の追い出したい鬼を発表しました。豆まきは今年年男年女にあたる5年生が担当しました。5年生たちは、鬼のお面を付けた他の学年の生徒や幼稚園児に向けて、「鬼は外、福は内」と大きな掛け声をかけながら元気いっぱいに豆をまきました。

道路情報支援システムが贈呈されました

一般財団法人ふくしま市町村支援機構が独自に開発した画像記録システム「道路情報支援システム」（略称「RISS」）が2月4日、大熊町に贈呈されました。

このシステムは、車両外部にWebカメラ、線量計およびGPS装置を装着し、道路の被災状況を撮影・送信するとともに空間の放射線量や位置情報を把握しデータ化するものです。これにより大熊町内の高線量区域の線量や被災状況の把握に活用されます。

贈呈式は同日、役場会津若松出張所で行われ、伊藤政宏ふくしま市町村支援機構常務理事から渡辺町長に目録が手渡されました。その後実際に公用車にシステムを取り付けデモンストレーションが行われ、渡辺町長がシステムの機能などの説明を受けました。

伊藤常務理事は「道路の災害復旧に向けて効率的に調査ができるよう開発した。帰還に向けて被災状況の把握に活用してほしい」と話し、渡辺町長は「自宅付近の線量値は町民の最大の関心事。このシステムを活用し、細部について情報を把握して伝えていきたい」と抱負を語りました。



伊藤常務から目録を受け取る渡辺町長

町民のひろば

雪の斜面に悪戦苦闘 一大野・熊町小学校スキー教室一

今年度、大野・熊町小学校では、会津坂下町営スキー場でスキー教室を開催しました。

この授業は、福島県会津自然の家の協力を得て各小学校4～6年生が学年ごとに2日間ずつの実施しました。会津青年の家には、スキー指導のご協力をいただいたほか、スキー板やブーツもお借りしています。

浜通り育ちの大熊っ子は、スキー初体験の児童も多く、慣れない雪の斜面に悪戦苦闘しながらも、時間を忘れて楽しんでいました。



大熊町の無形文化財の練習が再開されました

一熊川稚児鹿舞・長者原じゃんがら念仏太鼓踊り一

今年2月、大熊町の無形文化財「熊川稚児鹿舞」と「長者原じゃんがら念仏太鼓踊り」の練習が、各保存会により再開されました。

2月9日に一箕町長原仮設住宅集会所で行われた熊川稚児鹿舞保存会の練習は、踊り手の獅子は、中学生1名のみが出席し、それ以外の獅子については、団体OBによる演舞となりました。10年～40年ぶりに踊ったことでしたが、そのことを感じさせない踊りを披露しました。

また、2月17日に役場会津若松出張所で行われた長者原じゃんがら念仏太鼓踊り保存会の練習も、いざ踊りがはじまるとほとんど震災のブランクを感じさせませんでした。

この無形文化財の活動再開については、文化庁および福島県からの補助金による衣装復元、活動援助が行われています。両保存会とも来年度より本格的な活動を再開する予定です。



熊川稚児鹿舞保存会



長者原じゃんがら念仏太鼓踊り保存会

証明

『届出避難場所 証明書』を発行 します

平成25年3月1日より、「届出避難場所証明書」が発行可能となります。下記のような事例を経験された方で、避難場所の証明書を希望する際は当証明書の発行を避難元市町村である大熊町役場住民課避難者名簿係までご請求ください。

〈参考事例〉

- 避難先で携帯電話や車などを新たに取得する際、避難先で居住していることを証明する書類等の提示を求められました。また、住民票の異動を求められた。
- 金融機関等でクレジットカードを作る際、カードが住民票住所にしか送付されず受け取れない。
- 金融機関等にて融資を受けようとした際、組合員であることが条件となっており、組合員となるには当該地区の住民とならなければならないと

いわれた。等

この証明書は、避難住民の皆様の避難生活に支障が生じないようにするために発行することを目的としております。民間契約等の際に、避難場所の証明を求められる場合には契約の際に必要な書類等に加えてこの証明書を提示してください。(例 住民票と届出避難場所証明書を合わせて提示する)

請求に関しては、住民票等の請求方法に準じますが、以下の点にご注意願います。

〈注意〉

- 請求者は、本人又は本人と同一の世帯に属する者(避難住民に限る)に係る届出避難場所証明書に限り請求できません。
- 請求手続きを行っている者の本人確認の書類等の提示を求めます。
- 請求手続きを行っている者が代理人の場合には委任状が必要です。
- 郵便で証明書を送付することができるとは、届けている避難場所及びその避難者に対して送付することができま

すが、当該避難場所以外への送付はできません。

● 請求が不当な目的であると認められる場合には発行いたしません。

請求方法については以下の通りです。

〈窓口にて請求される場合に
必要なもの〉

- 印鑑
- 身分確認できるもの(運転免許証、健康保険証等)
- 委任されている方は委任状
- 郵便にて請求される場合に
必要なもの
- メモ用紙などに記載していただく項目
- ① 請求者の方の名前と生年月日
- ② 請求者の方の大熊町での住所
- ③ 請求者の方の連絡先(携帯電話番号等)
- ④ 誰の証明書が何通必要であるか
- ⑤ 必要とする方の名前、性別、生年月日、大熊町での住所、届けている避難場所、当該避難場所における滞在開始日
- ⑥ 身分確認できるもの(運転免

許証、健康保険証等)の写し
※証明書の送付は当該避難場所以外への送付はできません。

● 不明な点は役場住民課避難者名簿係までお問い合わせください。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所
住民課避難者名簿係
☎0120-26-3844
(内線540)

申込

電子回覧板の終了と タブレット端末の お申込みについて

現在ご利用いただいております大熊町電子回覧板(ソフトバンク社製フォトビジョン)は、平成25年3月28日(木)をもちまして、町からの情報配信を終了させていただきます。

なお、情報配信終了後も大熊町の懐かしい風景などをご覧いただけるよう、29日(金)は写真を配信いたします。この写真は4月1日以降もご覧

いただくことができ、終了による電子回覧板端末の回収はいたしません。

また、町では電子回覧板に代わる情報配信および町民同士のきずなの再生を図ることを目的に、タブレット型情報端末の配布を計画しており、現在その申し込みを受け付けております。

配布は各避難先ごとに1台とし、対象となる方々には、すでに申込書をお送りしておりますが、まだお申し込みになられていない方は、タブレット端末コールセンターまでご連絡ください。

お問い合わせ先

大熊町タブレットコールセンター
フリーダイヤル
0120-922-313

医療・介護

平成25年度大熊町
国民健康被保険者証
の更新について

現在、大熊町国民健康保険の保険証の有効期限は、平成25年3月31日までとなっております。新しい平成25年度の保険証につきましては、有効期限が切れる3月末日までにお手元に届くよう大熊町に登録している避難先情報の住所に簡易書留郵便にて郵送させていただきます。【発送予定日は3月22日(金)】
お手元に保険証が届きましたら、先にお送りしました一部負担金免除証明書と合わせて保管し、医療機関等を受診する際には必ず一緒に持参してください。
※現在お使いの保険証は平成25年3月31日まで使用していただき、有効期限が切れましたら細かく切つて破棄してください。
※避難先の住所を変更された際には、郵便局に郵便物の

転送の届け出をされるよう
おすすめします。
お問い合わせ先
大熊町役場会津若松出張所
住民課国保年金係

介護サービスは免除
証明書が不要です

前号でお知らせしていましたが、介護サービス利用料と介護保険料の免除期間が一年間延長されることになりました。

◆免除期間

・介護サービス利用料
平成26年2月28日まで

・介護保険料
平成26年3月31日納期分まで

◆免除対象

・介護サービス利用料の自己負担分(デイサービスの食費、施設利用の際の食費・居住費・日常生活費は対象外となります)
・介護保険料

第一号被保険者(65歳以上の方)の平成25年度分の介護保険料

※介護サービスを利用する際

は、免除証明書は必要ありません。
免除を受けるためには介護保険被保険者証の提示が必要になります。
介護保険被保険者証を紛失等でお持ちでない方は、再交付の申請が必要になりますので、お問い合わせください。
お問い合わせ先
大熊町役場会津若松出張所
健康介護課介護保険係

補助

福島県住宅用
太陽光発電補助制度の
開始について

福島県では、再生可能エネルギーの導入推進に取り組んでおり、その一環として、県内の住宅に太陽光発電設備を導入する方を対象に、住宅用太陽光発電設備の設置補助を行っています。

この度、平成25年度事業を前倒しする形で当該補助制度を開始しましたので、お知らせします。

◆事業概要

●補助金額等 1kWあたり35,000円(補助対象の上限は4,00kW)
●募集件数 約9,000件分(予定)

※補助申請総額が予算額に達した場合、期間内であっても募集を締め切ります。

◆申請期間

●平成25年1月21日
～平成26年3月31日まで

申請窓口および
お問い合わせ先

福島県再生可能エネルギー推進センター(NPO法人超学際的研究機構)
☎024-526-0070
FAX:024-526-0072
ウェブ: <http://fukushima-pv-hojo.org>

水道・消防

双葉地方水道企業団が
事務所を移転します

平成25年4月1日(月)より、
楢葉町の小山浄水場管理本館

へ事務所を移転いたします。
これにより、連絡先が次のとおり変更となります。

《住所》〒979-0515
福島県双葉郡楢葉町大字上小埸字小山6-2
☎0240-25-5315(代)

お問い合わせ先

双葉地方水道企業団
災害対策本部
☎0246-23-6751(代)

富岡消防署からの
お知らせ

春の火災予防運動が3月1日(金)から3月7日(木)までの一週間に行われ、全国一斉に実施されます。

この運動は、皆様に防火防災に関する知識や行動力を高めていただくことにより、火災の発生を防止し、万一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い生命と貴重な財産の損失を防ぐことを目的としています。

【火災予防の心掛け】
○たばこ

◆寝たばこをしない
◆ポイ捨てをしない



◆ 灰皿の吸い殻は確実に消火する

○ガステーブル

◆ 燃えやすいものをそばに置かない

◆ 使用しないときは元栓をしつかり閉める



◆ 揚げ物をしている時はその場を離れない

○電気コード

◆ たこ足配線をしない



◆ コンセントに差し込んだままのプラグは定期的に掃除する

◆ コードの上に家具などを置かない

○ストーブ

◆ 洗濯物などの燃えやすいものはそばに置かない



◆ 燃料を給油するとき

は、必ず消火してから行う

◆ 外出するときには必ず消火してからその場を離れる

お問い合わせ先

富岡消防署

☎0240-25-8563

榎葉分署

☎0240-25-2119

試験

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、国家公務員採用総合職試験（院卒者試験・大卒程度試験）及び一般職試験（大卒程度試験）を実施いたします。

申込みはインターネットにより行ってください。

〔総合職試験（院卒者試験・大卒程度試験）〕

インターネット申込受付期間：4月1日（月）9時～4月8日（月）〔受信有効〕

（インターネットによる申込みができない環境にある場合は、3月11日（月）から3月29日（金）まで（土日祝日を除く9時～17時）に、下記問合せ先にお問い合わせください。）、第1次試験は4月28日（日）に行います。

〔一般職試験（大卒程度試験）〕

インターネット申込受付期間：4月9日（火）9時～4月18日（木）〔受信有効〕

（インターネットによる申込みができない環境にある場合は、3月21日（木）から4月8日（月）まで（土日祝日を除く9時～17時）に、下記問合せ先にお問い合わせください。）、第1次試験は6月16日（日）に行います。

なお、申込方法や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページ又は下記お問い合わせ先をご覧ください。

お問い合わせ先
人事院東北事務局
第二課 試験係
☎022-221-2022
人事院ホームページ
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

東北地区国立大学法人等職員採用試験
ののお知らせ

◆試験の日程
受付期間 4月1日（月）～4月15日（月）

申込みができない環境にある場合は、3月21日（木）から4月8日（月）まで（土日祝日を除く9時～17時）に、下記問合せ先にお問い合わせください。）、第1次試験は6月16日（日）に行います。

なお、申込方法や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページ又は下記お問い合わせ先をご覧ください。

お問い合わせ先
人事院東北事務局
第二課 試験係
☎022-221-2022
人事院ホームページ
<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

◆試験の日程
受付期間 4月1日（月）～4月15日（月）

試験の内容 教養試験（多肢選択式による筆記試験）

試験地 弘前市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市（受験に便利な1都市を選んでください。）

第1次試験合格者発表 6月18日（火）

◆職員採用合同説明会 6月22日（土）仙台、6月24日（月）盛岡にて開催予定

第2次試験 7月1日（月）から開始。東北地区国立大学法人等各機関にて行います。

◆受験資格 昭和58年4月2日以降に生まれた者

※受験資格の詳細は下記HPをご覧ください。

◆試験区分
事務系区分 事務、図書
技術系区分 電気、機会、土木、建築、化学、物理、電気・情報、資源工学、農学、林学、生物・生命科学

※平成25年3月15日現在において採用予定のない試験区分については試験を実施しません。採用予定数は東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会ホームページに掲載いたします。

◆試験の日程
受付期間 4月1日（月）～4月15日（月）

ページに掲載いたします。

お問い合わせ先
東北地区国立大学法人等採用試験事務室
☎022-217-5676
（9時～17時、土日祝除く）

最新の情報は東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会ホームページにてご確認ください。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/shiken/>

◆試験の日程
受付期間 4月1日（月）～4月15日（月）

相談

ハローワーク会津 若松からのお知らせ

3月の相談日等は次のとおりです。

◆出張相談会

◇3月8日(金)

- 時間 午前9時30分～12時
- 場所 大熊町役場2階会議室
- 相談内容

- ①求人情報提供、職業相談
- ②職業訓練情報提供
- ③ところとからだのリラクゼーション・おしゃべり交流会(午前9時30分～10時30分)

◇3月21日(木)

- 時間 午前9時30分～12時
- 場所 松長近隣公園仮設住宅集会所(第一)
- 相談内容

- ①求人情報提供、職業相談
- ②職業訓練情報提供
- ③ところとからだのリラクゼーション・おしゃべり交流会(午前9時30分～10時30分)

◇3月29日(金)

- 時間 午前9時30分～12時
- 場所 大熊町役場2階会議室
- 相談内容

- ①求人情報提供、職業相談
- ②職業訓練情報提供
- ③ところとからだのリラクゼーション・おしゃべり交流会(午前9時30分～10時30分)

- ①会津地域以外の求人情報を閲覧希望の方は事前にご連絡ください。
- ③自由参加です。詳しくは、震災特別相談窓口までお問い合わせください。

※3月21日(木)の出張相談には臨床心理士が同行します。メンタルヘルス相談をご希望の方は、震災特別相談窓口まで事前にご連絡ください。

◆震災特別相談窓口(西分庁舎)

- 開所日時 毎週月～金曜日 ※祝日は除く。午前9時～12時、午後1時～4時
 - 場所 西分庁舎(ハローワークの道路向かい)
☎0242-851-8595
- ※開庁時間内におかけください。

◆臨床心理士による相談日

臨床心理士による職業相談、メンタルヘルス相談、健康相談ができます。

- 相談日 3月6日(水)、3月13日(水)、3月27日(水)
 - 時間 午前9時～12時
 - 場所 ハローワーク西分庁舎
- ※予約者優先。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

ハローワーク会津若松
☎0242-851-8595

避難者の皆様のための就職相談会

ふくしま就職応援センターでは、次の日程にて就職相談会を開催します。

お気軽にお越しください。

○仕事を探しています。

○どんな仕事をお探しですか？

○浜通りに引越す予定がある。

↓いわき・南相馬にも担当者がいます。

こちらで登録して情報収集しましょう！

○子どもが小さいので短時間の仕事がいい。

○運転免許がないので近くで働きたい。

などなど。なにか始めるには最適の季節です。

- ◆日時 平成25年3月16日(土) 午後1時～3時
- ◆場所 会津稽古堂第7研修室(会津若松市役所栄町第2庁舎向かい)

お問い合わせ先

ふくしま就職応援センター
会津若松窓口
☎0242-271-8258
月～土曜日 午前10時～午後7時

「引越相談所」開催のお知らせ

引越シーズンのピークとなる3月・4月の2ヵ月間、トラック事業者の団体である福島県トラック協会では、県内7ヵ所で「引越相談所」を開設し、電話等による引越等の相談に応じています。

緑ナンバーのトラックを利用しての引越や、引越に伴う種々のサービスについてお困りのことがありましたら、最寄りの「引越相談所」へご相談ください。

引越相談所(福島県トラック協会)の連絡先

- | | | |
|--------|-------|---------------|
| ①福島市 | 本部 | ☎024-558-7755 |
| ②福島市 | 県北支部 | ☎024-573-8755 |
| ③郡山市 | 県中支部 | ☎024-963-0780 |
| ④白河市 | 県南支部 | ☎0248-27-3644 |
| ⑤会津若松市 | 会津支部 | ☎0242-24-4855 |
| ⑥相馬市 | 相双支部 | ☎0244-37-3070 |
| ⑦いわき市 | いわき支部 | ☎0246-58-8223 |

保健だより

申し込み・お問い合わせ先
大熊町役場会津若松出張所
保健センター
☎0120-26-3844

「こころの相談日」

～ストレスからくる不調はありませんか～

眠れない・気持ちが沈む・アルコールの量が増えた・イライラする・ものわすれしやすい等の不調はありませんか？お気軽にご利用ください。

日時 平成25年3月12日（火）

内容 精神科医との個別相談
（1人あたり30分程度）

場所 ゆっくりすっぺ

対象 本人またはご家族

※会津地区以外の方はご相談ください。

「育児相談会」

※申し込みは不要ですので直接会場においでください。

～子育てについて一緒に話してみませんか～

日程 平成25年3月7日（木曜日）

受付時間 午前10時～11時

場所 会津若松市河東保健センター

対象者 就学前の乳幼児

内容 身体計測、育児相談、栄養相談、
親子遊び、ベビーマッサージなど

持参する物 母子健康手帳、バスタオル



◎麻しん・風しんの予防接種を忘れていませんか？

今年度の対象者は？

I期：1歳～2歳未満のお子さん

II期：平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれのお子さん

III期：平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれのお子さん

IV期：平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれのお子さん となります。

※平成25年3月31日までは無料で受けることができます。まだ受けていない方は、体調のよい時に早めに接種しましょう。

☆**県外**：原発特例法により、各避難先で接種できます。各自治体にお問い合わせください。

☆**県内**：大熊町の予診票を持参のうえ、医療機関で接種してください。

*予診票のない方は、保健センターまでご連絡ください。

平成8年度大熊中学校卒業生厄流し同窓会を開催しました



東日本大震災以来はじめて、平成8年度卒業生の厄流しを兼ねた同窓会を2月10日、郡山市のホテルブリシード郡山で開催しました。

県内外から45名の同級生が集まり、恩師の方にも参加いただき、盛会の内に終えることができました。中学時代をなつかしむ話題など、やはり故郷大熊町を想う声が多く、またいつか大熊町で再会しようと約束し解散となりました。

今後も同窓会を開催したいと思いますので、同級生のみなさん、よろしくお願いいたします。

幹事 佐久間 秀幸

茨城県に避難の大熊町のみなさんへ 大熊町避難者コミュニティ 「積小為大の会」のご案内

3月の定例会は以下の通り開催します。

- ◆日時 3月17日(日) 9:00~12:00
- ◆場所 水戸市三の丸公民館
(水戸市三の丸1丁目6-60)
- ◆内容 茨城弁護士会による相談会

【お問い合わせ】

野田朋弘(日立市) ☎090-8423-5608
Email: tomohiro-n@higashi-t.com

埼玉県へ避難している皆さんへ

輪になろう! ふみ出そう! 『ひまわりの会』

お茶を飲みながらふるさとの言葉でおしゃべり。
楽しい時間を! お茶っこしましょう!

- ◆日時 3月12日(火)
10:00~12:00 おしゃべりサロン
(親睦、情報交換等)・出入り自由
13:00~15:00 春よ来いサロン
フラワーアレンジ(材料1000円位)
編み物OK、おしゃべりOK、なんでもOK!
- ◆参加対象 大震災で移られた方、地域の方
- ◆参加費 200円

【お問い合わせ】 ひまわり ☎080-4920-4931

おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住所
2013年(平成25年)1月		
會田 正子	59歳	旭ヶ丘
佐藤 武	84歳	大野
武内 ハル	89歳	大野
渡邊 成晴	67歳	熊町
新長 安子	89歳	久麻川
吉沢 秀信	85歳	長者原
矢内 一男	79歳	中央台

県北地方『こらんしょ大熊』

県北地方避難者交流会「こらんしょ大熊」を下記のとおり開催します。福島市や伊達市等に避難されている町民の皆様、ぜひご参加ください。

- ◆日時 3月16日(土)・4月6日(土)
午前9時~午後1時
- ◆場所 コラッセふくしま
(福島県福島市三河南町1番20号)

【お問い合わせ】

代表 菅野充史 ☎090-7233-1148

à la carte



あらかると

幼稚園児が雪像をつくりました



雪像の前で記念撮影

大熊町の幼稚園児が2月5日、会津村で雪像づくりをしました。

あらかじめ、雪でつくった大きな起きあがり小法師が2体用意され、先生がカラスプレーで顔を描くと、子供たちはその周りに、小さな子法師をたくさんつくって並べました。

子どもたちは手際よく雪をころがしながら、かたまりをつくと得意そうに先生や友だちにを見せていました。

出来上がった雪像は、2月11日の「会津村子ども冬まつり」のために、正面入り口に飾られました。

雪像づくりの後は、小さな雪山を登ったり、チューブで滑り下りたり、広場を走り回って雪合戦や鬼ごっこを楽しみました。好天に恵まれ、会津村には子供たちの元気な声が響き渡っていました。



雪山でのチューブ滑り



雪を集め雪像を作る園児

今年も会津絵ろうそくまつりが開催されました

第14回となる会津絵ろうそくまつりが2月8～9日、会津若松市の鶴ヶ城、御薬園ほかを会場に盛大に開催されました。

会津絵ろうそくの歴史は古く、今から500年程前の宝徳年間、時の領主芦名盛信公が漆樹の繁殖栽培を奨励し、漆器の製造と共に、その実からは最上級の木ろうを採取し、ろうそくを作らせたことに始まります。

鶴ヶ城会場には、昨年が続いて大熊幼稚園の園児が似顔絵を描いて貼った灯籠が、地元会津若松の幼稚園の作品と共に展示されました。



大熊幼稚園の作品 (右)